



映像と講演の夕べ ～ 世界遺産富岡製糸場と土木 ～

世界遺産登録，史跡指定と世間の注目を浴びる富岡製糸場。その歴史は製糸場単体ではなしえず，産業とインフラが相互に影響し合っ
て成立してきたものです。工場操業の利水・排水と生糸・繭の輸送などの交通面を中心に，富岡製糸場の成立と創業がインフラ分野へ与えた影響を関連映像の紹介とあわせてご紹介します。世界遺産と土木遺産の連携による観光・まちづくりのあり方，土木が果たす役割を考えるきっかけとなれば幸いです。

富岡製糸場

企画・製作 富岡市 20分

ニッポン近代化遺産への旅

1998年 60分

企画 大成建設株式会社 制作 日本映画新社

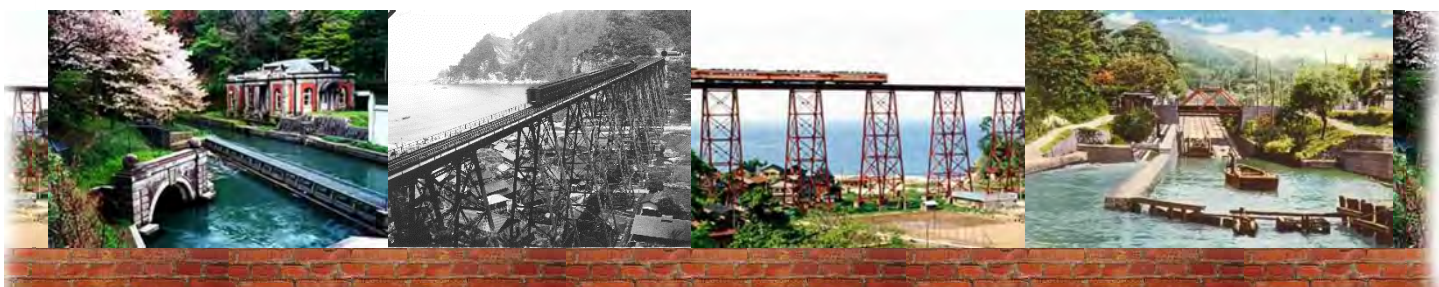
講演会

「富岡製糸場の文化財的価値と土木インフラに与えた影響について」
文化庁文化財部参事官（建造物担当） 西岡 聡 文部科学技官

2015年2月13日（金） 18:00 開場 18:30 開演

土木学会講堂（JR中央線・地下鉄丸の内線・南北線「四ツ谷」駅下車5分）

主催 公益社団法人 土木学会 土木史研究委員会
共催 公益社団法人 土木学会 土木技術映像委員会



映像と講演の夕べ

～ 世界遺産富岡製糸場と土木 ～

■ プログラム ■

- 開会挨拶
土木史研究委員会副委員長（日本大学工学部土木工学科准教授）知野 泰明
- 上映作品 Part1 「富岡製糸場」
- 講演会
「富岡製糸場の文化財的価値と土木インフラに与えた影響について」
文化庁文化財部参事官（建造物担当）西岡 聡 文部科学技官
＜休憩＞
- 上映作品 Part2 「ニッポン近代化遺産への旅」
- 閉会挨拶
土木技術映像委員会幹事長（一財財団法人 全国建設研修センター）栴山 清人

■ 講演者プロフィール ■

西岡 聡（にしおか さとし） 昭和49年1月17日生まれ。愛知県出身。41歳。

文化庁文化財部参事官（建造物担当）調査部門文化財調査官財団法人文化財建造物保存技術協会で碓氷峠鉄道施設の旧丸山変電所の保存修理や、旧富岡製糸場の建造物調査など近代化遺産に関する調査や保存修理に関する業務を行い、平成21年より文化庁へ。現在は調査部門文化財調査官として国宝・重要文化財の指定に関する調査を担当。

主な著書

『歴史的土木構造物の保全』（共著、鹿島出版会）、『重要文化財碓氷峠鉄道施設変電所(旧丸山変電所)2棟保存修理工事報告書』（共著、松井田町）『旧富岡製糸場建造物群調査報告書』（富岡市教育委員会）、『重要文化財旧富岡製糸場鉄水溜・烟筒基部保存修理工事報告書』（富岡市）など。

■ 上映作品 ■



富岡製糸場

企画・製作 富岡市 20分

富岡製糸場の成り立ちから現在までを紹介しながら、世界遺産としての普遍的価値を分かりやすく説明します。

ニッポン近代化遺産への旅

企画 大成建設株式会社 制作 日本映画新社 1998年 60分

監督 畑中義昭 撮影 坂本誠吾 監修 清水慶一（国立科学博物館） 出演 南伸坊（イラストレーター） ナレーター 檀ふみ（女優）

第19回土木学会映画コンクール最優秀賞、第37回日本産業映画・ビデオコンクール経済団体連合会会長賞
第46回教育映画祭優秀作品賞、フェスティバル・コミュニケーション賞、1999年優秀映像教材選推奨教養部門優秀賞、第10回TEPIAハイテクビデオコンクール奨励賞



この作品は、幕末から明治・大正にかけて急激に進められた日本の近代化に大きく貢献した産業・交通・土木に関わる建造物＝近代化遺産にスポットを当てたドキュメンタリー映画『ニッポン近代化遺産への旅』です。貴重な近代化遺産を初めて本格的に取り上げた画期的な試みです。旧新橋駅や琵琶湖疏水の蹴上発電所など、全国に残る数多くの貴重な遺構を紹介しています。